

映画『いただきます』 ここは、発酵の楽園

第158号 2020年3月9日発行

ミマモルジュ挨拶

ホテルに宿泊客の様々な相談や
ご要望に応えるコンシェルジュがいる
ように、保育においても様々な
ご要望や悩みがあると思います。

「見守る」+「コンシェルジュ」=
ミマモルジュとして、保育に関する
ご要望にお応えしていけるよう
活動していきます。

株式会社カガヤ 奥山卓矢

ここは、発酵の楽園

先日、映画『いただきます』ここは、発酵の楽園を観に行ってきました。

こちらの映画は『いただきます』シリーズの第2弾で、
前作は、みそをつくる子どもたちでは、福岡市にある高取保育園が
取り上げられています。

今回映画に取り上げられていた園は山梨県甲州市にある、みいづ保育園。

「循環型保育」を掲げ、保育園に隣接する0.3ヘクタールの自然農の畑や
田んぼで「畑保育」を実施。園児自身が田植え、稲刈り、脱穀したお米
を、感謝して食する食農活動や、年2回、季節の野草を用いた「野草給
食」を実施され、その取り組みが映画で紹介されていました。



映画上映後の舞台あいさつで、みいづ保育園の日原園長や、映画にも出演
していた子どもたちが2名が登壇され、園での様子をお話してくださいま
した。後日、映画の感想を兼ねメールしたところ、野草給食を食べに来て
ください！とお誘いを頂きましたので、園に伺った際には改めてこちらの
メールマガジンでご紹介します！